

(2024年度 第04回) さくら山王自治会 役員会議事録

開催日時： 2024年07月20日 13:00~15:15

場所：山王集会所

参加：24名 欠席：0名

【総務部挨拶】

本日役員定数24名に対し、24名出席0名欠席と4分の3を上回っておりますので、今回は成立します。議事進行は会長にお願いしたいと思います。

1. 会長案件

1.1 山王未来プロジェクト概要説明

愛光さんから山王未来プロジェクトの概要説明をしていただきます。自治会も愛光さんと一緒に行動して山王地区で色々な活動に関わる取り組みをしています。昨年と一昨年も共同開催した0円バザーというイベントについてお話をいただきます。今期も実施するということであれば、皆さんの協力が必要になりますので、その辺の概要もお話をいただきます。

《社会福祉法人愛光 横川氏講話》

皆さまこんにちは。地区の皆さまには、社会福祉法人愛光の事業にご支援、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。私は地域福祉事業、愛光で地域福祉事業務の部長をしており、また、南部地域福祉センターで所長しております、横川でございます。よろしくお願いいたします。

今日は、会長の方からお話がありましたように山王未来プロジェクトについて、私の方から説明させていただきます。山王未来プロジェクトは、山王自治会様と愛光の共生プロジェクトという、地域貢献、地域共生の事業があります。そのプロジェクトのメンバーで立ち上げました。この山王に愛光の本部があり、できるだけ多くの方たち、地域の方たちと一緒に山王地域の活性化をしようという目的で始めました。地域住民と社会福祉法人愛光で協力しながら作り上げていく取組です。いろいろな事業のイベントをこれからもやっていきたいと考えております。

2021年に実施した山王地域住民アンケート調査の結果を受けて何がニーズであるのか、課題なのか、というのを掘り下げて、今現在にいたっております。この山王地域住民アンケートを2021年に全戸配布し、たくさんの方にご協力いただきました。一時的な取組ではなくて継続的にやっていくというものです。こちらの結果をスライドで示します。たくさんいろんなご意見いただきました。こういうものがあっていいなとか、こうしてほしいなというのがたくさんありました。

この山王地域住民アンケートは令和3年の9月から10月に、山王1丁目、2丁目、1980世帯にお配りしまして、518通の回答がありました。回答率43.9%です。通常のアンケート回答率は2~3割程度ですので、とても高い回答率です。地域の皆さんにご協力いただいて、色々なご意見をいただきました。

その中で、世帯関係も確認させていただきました。ご存知の通り山王1丁目、2丁目は大変高齢化進んでおり、少子化も進んでおります。高齢化は40%を超えています。高齢化支援が必要になってくることはもちろんなのですが、少子化については、去年夏祭りのゲームコーナーに、多くのお子さ

んがいらっしゃり、あれだけのお子さんが山王地区にいるのだと認識しました。お子さんの支援もこれから必要であると考えております。

このアンケートにおいて、“日々暮らして いて あなたが困っていることは何ですか？ 不安に思うことは何ですか？” の質問の回答は、“ 1.買い物”、続いて“ 2.将来への不安、生活とか住宅等” あと“ 3.防犯関係” が上位を占めていました。

何かやって欲しい事、あるいはやる必要がある事業は、日常生活支援、掃除、草取り、買い物 でした。これらは根郷地区社共さんがやっている、ちょこっとサービスという、生活の中で掃除、草取り、買い物等を実施していただけるサービスがありますので、ぜひ利用していただければと思います。買い物に関しては、ウェルシアさんが移動販売車を実施されています。ここの山王集会所にも火曜日の 10 時 45 分に移動販売車が止まります。このような形で、お店がないのですけれども、できるだけ多くのお店が来るように交渉していければいいかなと思います。

誰もが気軽に集える交流の拠点というところをやってほしいということで、地域食堂ともいきを毎月第 3 水曜日に実施させていただいています。交流の場となっております。毎回来ている一人暮らしの高齢者の方が、今回、連絡が取れない、来てないのか、さあどうしたのだろうか？との状況になりました。私も、南部包括支援センターという高齢者の相談事業所があります。そこと連携してその方のところへ確認に行きました。その結果、お孫さんのお家に一週間泊まりに行っていたということで、大事には至らなかったのですが、そういったことをやっております。ここで集まる地域の交流場も必要ですけれども、地域の中で住まわれている方が安心して毎日生活できることも確認できます。このようなイベント事業をこれからも広げていければいいかなと思っております。

未来プロジェクトの主なメンバーについて、これから一番に考えていく必要があるのが有志メンバーです。アンケート調査でも、“ ご協力ご支援できる方、いらっしゃいますか？ “との問いかけに、40 人くらいの方に名前を書いて頂けました。しかしながら、ご連絡をしたところ、“ 今ちょっとまだ、仕事が忙しい” とか、“ 将来は何かやりたい” という方たちが結構いらっしゃいました。そういう方たちには今後に期待をしておりますが、何人かは、愛光の関係で、ボランティアに参加して頂いたことや、ともいきサロンに来ていただいたボランティアさんなど、そのような形で何人かの方とつながっています。

自治会さんの場合は 1 年で活動に参加される方が変わりますが、継続的に私どもと一緒に活動を続けていただけるような山王未来プロジェクトにおいて、地域活性化のために一緒に活動していただけるような方が来て頂けたらと思っておりますのでお願いします。

現在、3 名の民生員の方が加わっていただいています。あとは私ども愛好の職員、ともいきプロジェクトのメンバーが 4 人います。今まではこの 2 年間、福祉部さんに協力をいただいて一緒にやってきました。福祉部さんをはじめとして、他の自治会の方と一緒にこれからも活動していければと思います。去年の 0 円バザーでは福祉部さん、行事部さん、施設部さん、防犯部さんにもご協力いただきました。0 円バザーを 2 回やっております。12 月は寒かったので 9 月にしましたが、9 月はまだ暑かったです。今年は 11 月に予定しております。

0 円バザーだけではなく、特に福祉部さん、自治会さん主導でやっていただいたのが、山王買い物イベントという資料を作成し全戸配布しています。ここの掲示板にも貼ってあります。買い物に困っているということで、ご自宅からの注文、配送などを含めて、自治会さんの方が調べてまとめて頂きました。また、山王生活便利帳も全戸配布しています。中身はちょこっとサービスや、シルバー人材センターさんなどの紹介をしております。このような形でこれからも山王一丁目、二丁目が活性化、あとは 0 円バザーもそうなのですが、このアンケートで皆さんが要望している、いろい

ろなニーズを確認して、必要なニーズに応えるような形でプロジェクトを進めていきたいと思っております。7月1日に、山王地区における地域福祉の推進に関する協定書というのを、自治会様と愛光で締結することになりました。これからもよろしくお願いいたします。

令和4年の会議で福祉部の方と、民生委員と私ともで、アンケートで出たものをいろいろと整理しました。費用、時間をかけることなく、すぐにできるもの、というところで、ゼロ円バザーをやってみよう、その中に駄菓子屋さんをやってみようというように決めてきました。スライドで〇円バザーの様子を示します。敬愛短期大学の前で受付をしました。バザー以外に駄菓子屋さんとか、子どものコーナーとしてゲームコーナーとかそういうのもありました。自治会のいろいろな活動と、私どものともいき活動、山王の住民の皆さん、民生員の方と協力しながら、このプロジェクトが今後でもできるようになったのかなと思います。簡単ではありますが、プロジェクトの説明となります。

《〇円バザーについて 福祉部、愛光による説明》

- ・第1回より第2回のほうが、規模が大きくなり、昨年度は出店者が15名、来場者が730名であった。販売業者さんとして、地区で飲食業を営んでいる方、キッチンカーに来ていただいた。
- ・イベント準備は3か月前から出展者募集などのちらし配布などを実施し、当日は各部へ呼び込みや駐車場案内などの対応をお願いする予定。
- ・品物は良いものは30分程度で完売するため、出展者を増やしたい。また駐車場誘導が大変であったため、人数配置を見直す予定。
- ・品物以外にも、子供むけゲームコーナー、アートワークなどがあり、地域交流ができたとの認識でいる。

《質疑応答》

- ・〇円バザーの実施はいつ実施予定ですか？時間帯は前回と同じですか？
⇒11月24日10時から15時を予定しており、場所は山王小学校の体育館、グラウンド、駐車場を借りる予定。

《会長コメントおよび採決》

- ・今後も愛光さんと協力して活動を進めていきたいと考えている。自治会もイベント事業や情報提供、買い物支援、防犯防災活動などに関わりながら、愛光さんと共に山王地区を盛り上げていきたい。福祉分野に強みを持つ愛光さんと連携し、地域食堂などの活動を通じて、自治会と共にこの地区をより良くしていきたい。
- ・今期も〇円バザーに自治会も参加していきたいと思います。賛成の方は拍手をお願いします。
⇒拍手多数にて、今期も〇円バザーに自治会参加することを採決。

1.2 要支援者名簿について

《報告》

佐倉市から山王地区の要支援者名簿を入手。要介護 3 以上の方が 17 名、障害手帳をお持ちの方が 20 名、高齢者の方が 8 名、合計 45 名の方が災害時などに手助けが必要な方となる。2018 年に自治会独自で要支援者の調査を行った際に 96 名の方がいた。今回佐倉市からの名簿と自治会独自調査の結果を照らし合わせた結果、約 120 名の方が支援を必要としている可能性がある。名簿は該当する班のみ配布する。名簿を受け取った方は個人情報の取り扱いには注意をすること。

《会長依頼およびコメント》

- ・要支援者名簿を受け取った方は、名簿の方と面識がなければ、一緒に配布した挨拶文にご自身の名前、電話番号を記載し、顔合わせをすること。
- ・次年度、次の執行部が再度、佐倉市から要支援者名簿を入手しリストを更新する予定ではあるが、班長引継ぎの際に今回配布した名簿を次の班長にわたすこと。
- ・名簿以外で支援が必要な方がいた場合、その情報は班長が管理し班内での連絡先の共有をすること。地域の状況を把握し支援が必要かどうか意識することにより、自治会活動の基本である支援体制を整えたい。

1.3 集会所防火管理について

《報告》

私は防火管理者の資格を習得した。この集会場は消防法の適用対象であり、30 人以上が集まる場所として消防計画書を策定し、消防署に提出する必要がある。令和 3 年には既に消防計画書が提出され、検査も終了している。

今後は、消防計画に基づいて定期的な点検を行い、その記録を残すことが求められる。防火管理者の資格を持つ方々には、防火担当者として集会場の維持管理にも協力をお願いしたい。また、施設利用者が防火意識を高めるために、注意事項を掲示板に掲示することとした。

《質疑応答》

- ・出火した際の避難訓練は予定しているのか？
⇒必要があれば実施する。消防計画書には防災訓練の実施は明記されていない。
集会所で人が多く集まるイベントを実施する場合には、避難経路の確認や訓練を主催者側で実施していただきたい。
- ・消火器の有効期限はあるのか？
⇒ある。通報機と消火器の点検は外部委託しており、年に 1 回点検し報告書をいただいている。その際に消火器の有効期間も確認しているため、使用する段階で使用期限が切れていることはない。

2. 各部報告

2.1 福祉部

《報告》

社会を明るくする運動 愛の募金という活動を実施する。両替手数料の都合上、なるべく 1 円玉での募金は避けて欲しい。班長会でも同じ説明をする予定のため、役員会での詳細説明は省く。

2.2 行事部

《報告》

夏祭りを実施するかどうかの判断基準について、配布資料に記載した。夏祭りに延期はない。台風などの悪天候が予想される場合には 7 月 24 日に判断し、中止の場合は緊急連絡網で連絡をする。連絡がない場合は夏祭りを決行する予定。

2.3 総務部

《報告》

■今月の入会、退会について

- ・ 7 月 1 日時点で入会は 1 名、退会は 6 名となっている

■各種要望書

- ・ 車止めポール腐食修理についての要望書にかんしては 6 月 26 日に修理が完了。現地確認済み。
- ・ 環境部から U 字構のつまり復旧については要望書提出済み。

■AED（自動体外式除細動器）設置について

- ・ リース切れにより集会場に設置していた AED をアルソックへ返却済み
- ・ レンタルは 5 年契約。月 4950 円。5 年後は 1 年ごと更新。買い切りは 30 万円。レンタルの場合、電極パッド使用時の交換や盗難補償もあるが、買い切りは消耗品の交換や盗難補償はない。

《会長コメント》

AED が近隣の公的機関や病院の室内に設置されている。夜間や緊急時においては室内保管では使用できない可能性もあり、集会所の外に AED を設置した経緯がある。しかし、管理が難しく、電池切れやリースの更新が切れてしまった。AED の設置費用が 5 年間で約 30 万円かかり、使用後には中身の総入れ替えが必要になるため、コストがかかる。集会所に再び AED を設置するべきかどうかについて、参加者の意見を求めたい。

《AED 設置可否についての意見》

- ・ AED が実際に使用されていない点でコストパフォーマンスが悪いが、いざというときに AED があるかどうかで結果が大きく変わる可能性がある。AED は代えがたい重要な機器であり、集会所に設置することは必要だと思う。
- ・ 高齢者が頻繁に利用する集会で、万が一利用者が倒れた場合、小学校などの近隣施設に AED を取りに行くには時間的余裕がない。集会場を安全で安心して利用してもらうために、AED の設置は無駄ではなく、むしろ大きなメリットがある。特に、AED がすぐに使えることで、緊急時に

命を救う可能性が高まり、利用者が安心して集会場を利用できる環境を整えることができる。

- ・AED がたまたま使われなかった過去の経験や管理が十分でなかった点はある。しかしながら、集会場には人が集まり、特に子どもや高齢者が利用する場所であるため、AED の設置が非常に重要である。緊急時に AED を探しに行くのは困難であり、AED がすぐに使える場所にあることが理想的。AED は「無用の長物」ではなく、集会場にあるべき機器である。

- ・AED の設置は重要である。その設置場所は屋内にすべき。ただし、AED があるだけでは十分ではなく、使用方法を正しく覚える必要がある。そのため、消防署が提供する無料の AED 講習を受けることを推奨したい。集会所を利用する団体や集まる方々が講習を受け、操作を習得することで、AED の設置が本当に意味のあるものになる。

- ・AED が設置されていることを利用団体の方々が認識しているのか？多くの利用者が AED の存在を知らない可能性がある。設置すること自体には問題がないが、AED がどこにあるかを周知することが重要である。目立つ場所に設置されていても、意識して認識していなければ、いざというときに使用されないリスクがある。そのため、利用団体には AED の設置場所をしっかりとアピールすることが必要である。

- ・小学校などの施設内に設置されている AED は、休みの日などには急には使えない。集会所に設置する AED は、そこを利用する人だけでなく、地域全体の住民が緊急時に利用できるようにすべきである。そのため、山王地区全体に対して「ここに AED があります」と PR し、設置場所を周知することが重要。AED の存在を全住民に知らせ、誰でも緊急時に利用できるようにすることで、安全性を高めたい。

《会長コメントおよび採決》

保守メンテナンスを考慮しレンタルでの設置について賛成の方は挙手をお願いしたい。

⇒過半数挙手にて、設置の採決。

アルソックへレンタルの再契約と山王地区全体に対する PR のチラシ作成を総務部の方ですすめて欲しい。

■住民状況確認について

- ・会員、非会員などの情報を管理している管理台帳に齟齬がみられる。配布資料として、各班に名簿を渡した。区分の列に非会員、空き家、駐車場、2 区画利用などを書き込んでいただきたい。有事の際に市から情報を求められることもあるため情報を正確にしておきたい。書き込んだ資料は次回の班長会に持ってきてほしい。

《会長補足》

- ・地番が連続でないところは、管理台帳の行が削除されたところであるので、追記をお願いする。
- ・名簿に記載のない非会員については、表札名を記入。
- ・名前の変更はないか、世帯が変わっている可能性もあるので確認すること。

2.4 防犯部

《会長報告》

防犯部の提案に基づき、自治会活動を周知するためのチラシを作成した。このチラシの目的は、防犯カメラが山王地区の 11 箇所に設置されていることを通知し、安全と安心を守るための取り組みを住民に知らせることである。また、自治会費がどのような活動に使われているのかを会員や非会員に伝えることも目的としている。

- ・チラシには以下のメッセージを記載し、自治会活動の PR をする。
” 地域ごとに班長さんが世話役として活動しています。班長は順番に担当しますが、様々な事情を抱えて、難しいようであれば、話し合って班長を決めることにしています。お互い様でつながりをつくる活動は自治会活動です。未加入の方、一度退会された方も一緒に、安全安心のコミュニティ作りを目指しませんか。”
- ・チラシ裏面に防犯カメラの位置を記載する予定で、そこに AED の位置情報を記入するアイデアもある。最終的な原稿および印刷については総務部と相談しながら進める予定。
- ・7 月 23 日に山王小学校で、非常登頂訓練の見学を実施する予定。防犯部に参加していただく予定で次回報告をお願いしたい。

《質疑応答》

- ・防犯カメラの位置をあえて記載する必要はあるのか？設置位置は適切なのか、また防犯上の盲点がでてこないのか？
⇒防犯カメラの設置には基準があり、住民のプライバシーが映らないところに設置する必要がある。山王地区に設置した防犯カメラは、山王地区に出入りするためには必ず通る道に設置してある。ターゲットとなる車がどこから入ってきてどこへ抜けていったのかは全部わかる。また、防犯カメラがあることで犯罪への抑止力にもつながる。

2.4 施設部

■集会所玄関および倉庫 施錠管理

《会長提案》

自治会は班長 52 名を含めた人数で活動をしている。必要な時に集会所や倉庫を利用できるようにキーBOX の暗証番号を開示する。情報は印刷物にしていいためメモをお願いしたい。班長会でも同様な内容で開示する予定。

■集会所清掃外部委託アセスメント

《報告》

集会所清掃を外部委託して 3 か月経過したため、状況を報告する。
毎月第 2・第 4 水曜日に 2 時間半程度、トイレを含めて清掃を実施。以前は班長が持ち回りで清掃していたため、負担軽減に役立っていると考えられる。年間で約 30 万円の費用がかかるため、来年も続けるかどうかは検討が必要。

《質疑応答》

- ・外部委託の清掃はゴミ袋を持って行ってくれるのか？
⇒ゴミ袋は置いていく。清掃に立ち会った施設部員が持ち帰る。

- ・集会所中庭にあるゴミ箱に3か月ゴミがある。ここは清掃対象外か？
⇒対象外。おそらく利用団体が使っていると思われる。

《会長コメント》

- ・しばらく継続し秋口もしくは来年のはじめぐらいにどうするのかを検討したい。
- ・集会所中庭のゴミ箱については、使用者不明のためゴミ箱は撤去する。

■集会所での飲酒

《会長報告》

- ・集会所内で、飲酒をしながら活動されている方を何回か目撃したことがある。あまり規制等はしたくないが、皆さんの意見を聞きたい。

《集会所での飲酒についての意見》

- ・利用団体が一つだけなら問題ないかもしれないが、別の部屋で子どもたちが活動している時に、一方でお酒を飲んで騒ぐのは適切ではないと感じる。完全に禁止するわけではないが、その状況について疑問がある。
- ・お酒がよくないと判断すれば、利用規約を変更し、利用団体に通知する必要がある。しかし、あれこれ禁止するのはどうかと感じる。打ち上げや暑気払いでのお酒は問題ないと思うが、活動の中で頻繁にお酒が目につくのは、個人的に雰囲気良くないと感じている。
- ・年配の方の活動が多く、お酒が入りやすい状況ではあるが、若い方や子どもも活動する場なので、原則としてお酒は禁止すべき。以前、お酒を飲んで問題になった団体もあり、不公平感が生じる可能性がある。禁酒にした方が良いと思う。ただし、団体の打ち上げなど年に1~2回の特別な会については、原則禁止の上で、部長の許可を得れば例外的に認めるという形が良いのでは。
- ・他の団体と一緒に活動する際に、片方が飲酒するのは問題があると感じる。集会所を全体貸し切りにして行う場合は良いかもしれないが、飲酒が子どもたちの活動と同時に行われるのは避けるべき。公序良俗に反することは禁止されているため、飲酒には注意が必要。打ち上げなどでの飲酒は届出制にし、和室でのみ許可する形が良いのではないかな。完全禁酒は難しい。
- ・佐倉市の公民館は禁酒となっている。公民館ではないけれども、規制はすべきではないかと思う。お酒飲むために利用するわけではない。例外をつけるのは構わないと思う。
- ・この集会所では、葬儀の場合に優先的に利用できる規約があり、その際に飲酒や清めを行うことはやむを得ない。ただし、飲酒を伴う場合は、集会所を完全貸し切りにして、全ての部屋の費用を支払ってもらう必要があると考えている。また、飲酒を伴う会合は、適切なやり方で行うことが重要。

《会長コメント》

集会場での部屋利用に関して、原則として飲酒を控えるよう利用団体に口頭または文書で伝える。状況を見ながら、トラブルが発生した場合には再検討する予定。届出制のアイディアもあるが、管理が大変になるため、常識の範囲で対応してほしいと考えている。全体として、皆が利用できる場所として適切に運営していきたい。

■スマートロック

《報告》

- ・昼間の時間帯を開錠のままで保持するにはリスクがある。基本、施錠状態とし利用者が暗証番号で入室し、一定時間でロックをかけるスマートロックを導入することを前回の役員会で決めた。
- ・業者に現地確認を依頼し、写真だけではなく実際に現場を見てもらった結果、設置に問題がないとの最終回答を受けた。また、コストについても前回の見積もりと変わらず、約 22 万円で行えることを確認した。次のステップは、発注作業となる。
- ・スマートロックはクラウド管理システムを採用しており、鍵の暗証番号発行や施錠のタイミングなどの管理には専任の管理者が必要。初期対応は施設部にて対応する。管理者の設定には個人情報の入力が必要で、引き継ぐ際には個人情報の取り扱いはもちろんのこと、システム保守メンテナンスに興味がある方に引き継げるのが望ましい。
- ・月々の運用費用は 2200 円で、通常はクレジットカードで自動引き落としされるが、自治会ではクレジットカードが作れないため、代替手段として銀行引き落としを検討している。ただし、その場合、費用が月 3000 円に増え、手続きが複雑になる可能性がある。また、施工時期は、最終確認後に発注作業を行い、8 月以降、業者の都合に合わせて実施する予定。

《質疑応答》

- ・他にも業者があるかと思うが、クレジットカードを使わずに請求や口座引き落としが可能な業者が他にあるか？
⇒クラウド管理システムではクレジットカード決済が主流で、他の選択肢もあるが手間と追加費用がかかる。また、施設側はスマートキーのメーカーをいくつか調べた結果、暗証番号で操作できる製品が少なく、現在の業者が最も適しており、コスト面でも優れていると判断している。
- ・システム障害時に物理的に開錠できるのか？
⇒内側からは解除可能で、外側からは管理者が持つ物理的な鍵が必要。
- ・暗証番号は入室するごとに取得する必要があるのか？
⇒固定で 1 個決めればよい。現行キーBOX の暗証番号のようなもの。また、利用団体ごとにも決められる。そうすると利用団体がいつ使用したかの履歴が残る。このような設定をクラウド上のシステムで実施する。ただし、施錠の履歴はわからない。

《会長コメント》

- ・スマートロックの導入を進める方向で決定し、管理方法について施設部と集会所運営委員会で話し合う。クラウドベースの管理が便利である一方、月々の費用がかかるため、そのコストを考慮してどうするかを集会所運営委員会で検討する。
- ・導入自体は進める方向だが、全員がシステムの使い方を理解してから進めるべきである。利用団体にも理解を深めてもらう必要があり、説明資料や動画の共有をお願いしたい。特に、システムの利用イメージが全員に伝わっていないため、業者にオンラインでの説明や動画提供を依頼し、集会所運営委員会で確認したい。

《施設部コメント》

- ・懸念事項をあげていただきたい。業者に確認する。また、使い勝手の説明動画を探し共有する予定。

■予約システム

《報告》

- ・予約サイトの無料版を評価用として立ち上げた。簡単に予約できる仕組みが整っている。課題は、設定をしないと毎回アカウント情報を入力する必要があること、広告が表示され目障りである点である。
- ・予約システムには、管理者用の画面があり、予約の状況や顧客の情報を一覧で確認できる機能がある。これにより、どの住民がどのように予約を利用しているかを把握でき、キャンセル状況や予約の履歴を管理することができる。これらの情報は保存されるため、後々の請求や集計に使用可能。
- ・課題として、毎回予約者情報を入力する手間があるが、「レゼルバ会員登録」により解消できる。登録することで、メールアドレス、名前、電話番号、暗証番号を保存し、次回以降はワンクリックで簡単に予約が完了するようになる。クレジットカード情報の入力は不要で、安全性も確保されているため、利便性が高い。
- ・独自会員機能は、管理者にとっては非常に負担が大きい。この機能を利用するには 132,000 円と高額な費用がかかるため、コスト面でのハードルも高い。
- ・無料版では広告が表示されるが、これを非表示にするには 66,000 円のシルバープラン以上を契約する必要がある。
- ・予約時に大きな音がでるような団体の活動日はさけて予約をしたいとのニーズはあるが、予約システムでは、プライバシー保護の観点から一般利用者が他の予約状況を見ることはできない。管理者のみ見ることができる。
- ・予約システムの試用版の連絡、使用勝手の情報収集にむけて各利用団体のメールアドレスを収集中。全団体のメールアドレスは取得できていないが、QR コード付きのチラシを掲示板に張り出すなどの対応をとる予定。

《質疑応答》

- ・結構高齢者の団体が使う場合が多いので、そういう高齢者でも簡単に使用できるものか？
⇒スマートフォンでネットショッピングやネットバンキングを利用できる高齢者であれば問題なく予約システムを使える。また、団体内にシステム操作をサポートできる人がいれば対応できるとおもう。
- ・予約は利用者自身が責任を持って行うべきで、代理で予約を行うことは避けるべき。ただし、オンライン予約を導入する背景として、従来の紙の台帳管理が施設部に大きな負担をかけている点があり、オンラインでの予約管理でその負担を軽減できる。また、オンライン予約の利点として、いつでも予約状況を確認できる点がある。利用団体にもこの方向で対応していく方針である。スマートフォンを一切使用していない団体については個別対応とする。
- ・オンライン予約システムに決済機能をリンクさせることはどうか？
⇒最初からクレジットカードを紐付けて自動引き落としにすることに抵抗があるのではないかな。初期段階では半年に一度の後払い方式が受け入れやすい。
- ・クレジットカード以外の支払い方法もある。自治会費の回収についても振込を検討しておりいろいろな選択肢がとれると思う。予約時に清算できるのが望ましい。
⇒最初は予約をするところに論点を絞りたい。課金方法まで入れるとハードルが高くなる。課金機能については慎重に進めたい。
- ・サブスクリプションのように、事前にデポジットとして一定額を徴収し、利用実績に応じて精算

する方法はどうか。

- ・利用団体に対して事前に一定額を納めてもらい、利用後に精算するという方法も一案として考えられる。施設部の現行の負担を軽減するための手段として検討する価値がある。

《結論》

- ・広告が表示されないプランを選択し、手間のかかる現行の管理と回収作業を改善するために、具体的な導入タイミングを検討して進める方向とする。
- ・予約システムの導入に際して利用団体に事前に告知し、反応やフィードバックを集める。
- ・システムに関する具体的な質問や問題があれば、それを集めて対応する準備を進める。

《その他 集会所周辺 樹木剪定》

- ・集会所の樹木の剪定は 9 月の末頃で日程調整している。シルバー人材センターの責任者の方も山王自治会員の方であり、費用をかけるのなら、全戸一斉清掃の前にやりたいとのことで、日程を調整している。

以上。

【次回開催予定】

役員会開催予定	8 月 24 日	13:00～15:00
班長会開催予定	8 月 24 日	15:30～16:30